

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

NO.37

厚岸町水道広報

2025
夏

特 集

令和7年度水道事業 予算と事業計画

- 家畜排せつ物の適正な管理にご協力を！
- PFOS・PFOAの検査を実施しました



厚岸浄水場で社会科見学をする厚岸小学校の児童たち。

簡易水道事業が上水道事業と統合

令和7年度より簡易水道事業（小規模な水道事業）が上水道事業と会計が統合されました。引き続き経営基盤の強化と安定的な運営を目指します。

また、令和7年度の水道事業会計予算は3月に開かれた町議会第1回定例会で可決されました。

収益的収支の予算額は収入が4億1,901万円で、前年度に比べ8,817万9千円の増、支出は3億7,237万9千円で、前年度に比べ8,539万3千円の増となり、予想される利益は2,970万1千円となっています。収支において、前年度と比べて増加が大きい要因は、簡易水道事業が統合されたことによるものです。

予算の概要

◆企業会計のしくみ

水道事業は地方公営企業法が適用され、必要な経費は水道料金で賄う独立採算制が原則です。

予算は料金収入や営業経費などの経常活動に関する「収益的収支」と施設整備などの投下資本に関する「資本的収支」の2本立てとなっています。

水道事業予算とは上水道事業予算及び簡易水道事業予算のことです。

〔収益的収支〕

収益的収支の見込みは、収入総額が4億1,901万円で、前年度に比べ8,817万9千円(26.7%)の増となっています。収入の柱である給水収益が、前年度に比べ6,534万3千円(23.6%)の増を見込んでいます。

また、収益的支出の総額が3億7,237万9千円で、前年度に比べ8,539万3千円(29.8%)の

増となっています。主に、原水及び浄水費や総係費の増によるものです。

この結果、収支差額は4,663万1千円の黒字となる見込み(税抜の損益では、2,970万1千円の純利益)です(図1)。

〔資本的収支〕

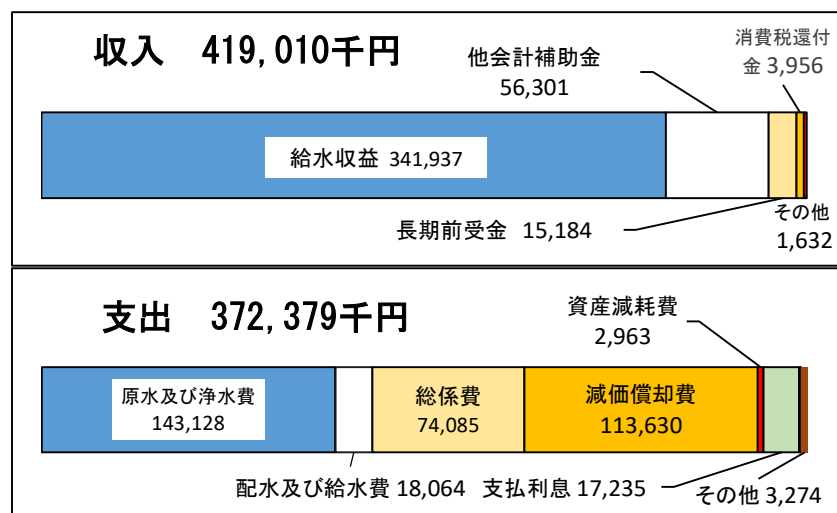
資本的収支は、収入総額が1億9,073万4千円で、前年度に比べ5,095万3千円(36.5%)の増となっています。主に、企業債が320万円(2.9%)減の1億870万円、国庫補助金が1,407万8千円(127.1%)増の2,515

万3千円、補償金が3,251万円(197.1%)増の4,900万円となっています。

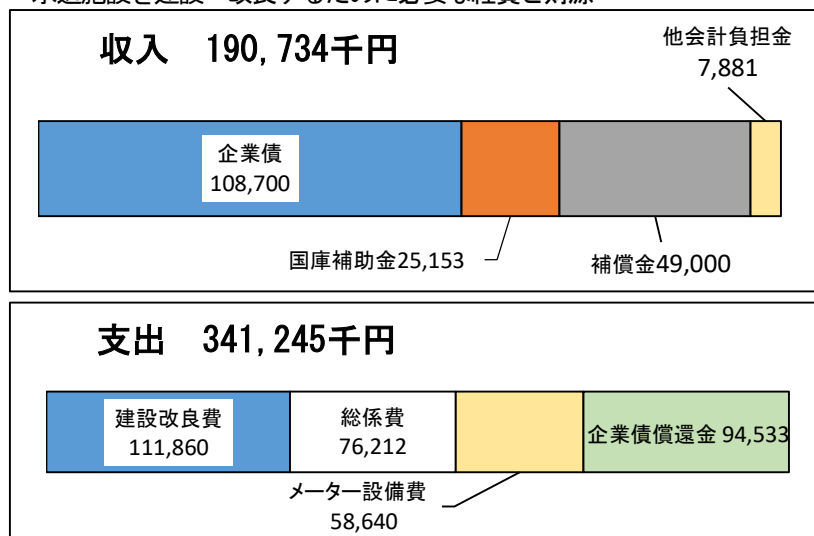
支出総額は3億4,124万5千円で、前年度に比べ5,279万1千円(18.3%)の増となっています。主に、建設改良費が54万円(0.5%)減の1億1,186万円、総係費が2,307万2千円(43.4%)増の7,621万2千円、メーター設備費が2,260万4千円(62.7%)増の5,864万円、固定資産購入費が126万9千円の皆減となっています。

(3ページへ)

■図1 収益的収支
水道水を作り、家庭などにお届けするための経費と財源



■図2 資本的収支
水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源



企業債償還金は892万4千円(10.4%)増の9,453万3千円です(図2)。

資本的収支の不足額1億5,051万1千円は、当年度分損益勘定留保資金1億140万9千円、引継金64万2千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,563万8千円、減債積立金1,937万8千円、建設改良積立金1,344万4千円で補填することとしています。

業務の予定量

業務の予定量は、前年度水量実績を基に、令和7年度の水需要の見通しを立てたものです。給水戸数は前年度に比べ490戸(9.5%)増の5,650戸で、年間

■表1 業務の予定量

区 分	単位	7年度	6年度	増減	率(%)
給 水 戸 数	戸	5,650	5,160	490	9.5
年 間 総 配 水 量	m ³	1,589,082	1,151,076	438,006	38.1
一 日 平 均 給 水 量	m ³	4,354	3,154	1,200	38.0

【主な科目の説明】

◆収益的収支

科目	説明
給 水 収 益	水道料金
他 会 計 補 助 金	一般会計などからの補助金
原 水 及 び 浄 水 費	水を作る費用
配 水 及 び 給 水 費	水を各家庭等に配る費用
総 係 費	人件費や事務費など
減 価 償 却 費	水道施設等の資産価値の目減り分を費用計上したもの
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	借入金の利息の返済額

◆資本的収支

科目	説明
企 業 債	水道施設整備のための借入金
建 設 改 良 費	施設の建設・改良に係る費用
企 業 債 償 還 金	借入金の元金の返済額

総配水量は438,006立方メートル(38.1%)増の158万9,082立方メートルで、一日平均給水量は1,200立方メートル(38.0%)増の4,354立方メートルの見込みです(表1)。

令和7年度の主な事業

●配水管布設替等事業

1億8,776万円(6,876万円)

宮園地区や港町地区の配水管布設替工事や配水管整備工事などを予定しています。

また、老朽化した水道管の更新設計調査や高速道路建設に伴い水道管が支障となるため、水道管の移設に係る実施設計を予定しています。

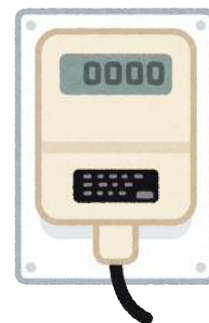
●メーター設備事業

5,864万円(2,260万4千円)

水道メーター(量水器)の新設や有効期間が満了するメーターの交換を予定しています。

新設、交換あわせて788台(293台)の予定です。

※()内は前年度当初比増減額です。



家畜排せつ物の適正な管理にご協力を！

私たちが毎日使用している水は、河川から取水し、きれいに浄化された水を皆さまのお宅へ届けています。しかし、河川に流れ込む汚れや有害物質が増えると水処理には大きな負担がかかります。例えば家畜のふん尿が適正に管理されず、河川に流れ出ると水質汚染を引き起こします。具体的には窒素やリンといった栄養分が増えすぎることによって水の透明度が下がり、有害な微生物や臭いが発生します。このような状態になると水道水として使うには高度な浄水処理を行わなければならない、薬品などの処理費用が増加し、水道事業経営に大きな影響を与えます。

河川水を取水し、適正に管理するための水質項目の1つであるアンモニア性窒素は浄水処理を行なう上で、通常の浄水処理では0.3mg/L程度以下が管理可能な範囲とされていますが、令和7年3月には、水道水の水源としているホマカイ川にある上水道取水口において100倍～150倍以上のアンモニア性窒素が2度に渡り検出され、取水停止となる事態が発生しました。主な要因は家畜排せつ物が土壌に浸透されず、降雨や雪解けによって傾斜地などがある草地から河川へ流出したものと想定されます。

このことから家畜排せつ物の野外への放置や河川への流出が起これないように日頃からふん尿の適正な管理について、ご理解とご協力をお願いします。



ピーフォス ピーフォア PFOS・PFOAの検査を実施しました



国内においてPFOS及びPFOAの摂取が主たる要因とみられる健康被害が発生した事例は確認されていませんが、PFOSとPFOAとは、有機フッ素化合物の1種であり、近年、人への健康上の影響が懸念されている科学物質です。厚岸町でも今年5月に町内8箇所の浄水場（上尾幌・門静・太田・大別・片無去・糸魚沢・別寒辺牛・トライベツ）から供給された水道水の水質検査を行った結果、50ng/Lの目標値を超えるPFOSとPFOAの値は確認されませんでした。

また、8月には8箇所の区域において、原水の水質検査も実施する予定です。

ちょっとポイント PFOSとPFOAってどこからきたの??

PFOS・PFOAはそれぞれ過去に使われてきた半導体用反射防止剤、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤等に含まれており、分解されづらく、蓄積しやすい物質です。さらに大気に混ざり長距離を移動することから、現時点では北極圏などを含め世界中に広く残留しています。日本ではPFOSは2010年に、PFOAは2021年に製造、輸入等を原則禁止しています。

詳しくは、このQRコードから環境省のホームページをご覧ください。→



編集後記

▼4月に環境林務課から異動となり、水道課業務係に配属になりました梶谷です。以前はごみ処理手数料に関する業務を担当していました。そこで得た経験や知識を活かしながら、丁寧で正確な仕事をするよう心がけたいと思います。町民の皆様の日常生活を支えられるよう一生懸命取り組んでいきますので、よろしくお願いします。（梶谷）

すいげん

NO.37

2025年 夏号（通巻73号）
令和7年8月1日発行

■発行／厚岸町
■編集／水道課
〒088-1192
厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-4284
E-mail/suidou@akkeshi-town.jp